

地域継続と事前復興からの 国土強靱化の発想

～想定外の災害に備えるためには～

講演 明治大学 政治経済学研究科・危機管理研究センター 特任教授
日本災害復興学会 会長 中林 一樹 氏

東日本大震災は、21世紀が想定外に備える世紀となることを予見させた。想定外に備えるにはどうすればいいのか。想定外を想定し、自ら被災することを想定した取り組みであるBCP(事業継続計画・業務継続計画)からの発想が第一の国土強靱化の取り組みである。さらに、長期的には、いかなる事態が発生しても地域を生き延びさせ、さらにそこから復興するとすれば、その復興で目指す地域像を事前に目標とする地域づくりの取り組みが第二の国土強靱化の取り組みではないか。従来の防災ではなく、地域の脆弱性を想定し評価することから始める国土強靱化計画について、語る。



日時:平成28年 2月5日(金)
午後3時～(2時間程度)

場所:熊本市国際交流会館 7Fホール
(熊本市中央区花畑町4番18号)

※本講演会は都市計画CPDの認定プログラムです。

※このほか熊本市都市政策研究所からの研究報告もあります。

入場無料

事前申し込みが必要です

●講演会終了後、講師を囲んで意見交換会を開催します。

(軽食、ドリンク付き[会費:2,000円])

時間:午後5時20分～

場所:ティアのもらえない食堂・IKOICAFE

熊本市中央区桜町1番3号

市民会館崇城大学ホール(熊本市市民会館)内

【専門分野】

都市防災学、災害復興学、都市計画学

平時のまちづくりを通して如何に災害に強いまちづくりを進めるか、災害から如何に地域を継続し復興するかをテーマに、東京都と連携して自治体職員への「都市復興図上訓練」、「震災復興まちづくり訓練」の手法開発と実践指導や、「震災復興マニュアル」の策定支援など「事前復興研究」の実践的推進。

東日本大震災においては南三陸町の復興計画策定副委員長を務めるなど実践的に取り組んでいる。

工学博士(東京都立大学1988)

【社会活動等】

日本災害復興学会会長、自治体危機管理学会理事、都市計画学会などで学術活動のほか、東日本大震災復興支援関連活動にも参加。

内閣府首都直下地震避難対策等検討委員会委員長、首都直下地震検討WG委員などを歴任。

現在、内閣官房ナショナルレジリエンス懇談会委員、文部科学省地震調査研究推進本部政策委員会委員など多数。

平成24年度兵庫県防災功労表彰、平成26年度防災功労者(内閣総理大臣表彰)など。

【経歴等】

1947年 福井県生まれ。福井大学 工学部建築学科卒業 1975年 東京都立大学工学研究科博士課程(単位取得)退学。

同 地理学科 助手、助教授を経て、1993年 都市研究センター教授、1994年 都市科学研究科 教授、都市科学研究科長等を歴任し2011年退職。同年より明治大学 大学院危機管理研究センター 特任教授。公益社団法人 中越防災安全推進機構 理事長、阪神・淡路大震災淡路大震災記念 人と防災未来センター 上級研究員など。

【著書等】

『中越地震から3800日—復興しない被災地はない—』ぎょうせい(共著2015)、『危機管理学—社会運営とガバナンスのこれから—』第一法規(共著2014)ほか多数。その他、論文多数。

◆お申し込み方法◆

電話かインターネットで、熊本市コールセンターひごまるコールに、参加者氏名(1回の申し込みにつき10人まで)、電話番号をお伝えください。定員200名(先着順)

申し込み期間:受付開始 1月8日(金)～締切り 2月3日(水)

●TEL:ひごまるコール電話番号 096-334-1500

●インターネット:ひごまるコールホームページ <http://higomaru-call.jp/event>

【主催】熊本市都市政策研究所(熊本市中央区手取本町1番1号)

TEL:096-328-2784

Mail: toshiseisakukenkyusho@city.kumamoto.lg.jp